

ベネズエラの最新動向(3月1日~3月15日)

I. 政治・経済

1. 2月のインフレ率 25.2%(年率)

- 3月5日、ベネズエラ中銀は、2月のインフレ率は前月比 2.28%上昇し、年率で 25.2%となった旨発表した。1月のインフレ率は月率 3.39%の上昇であり、上昇率は低下したとしている。
- ベネズエラ中銀は、今後ベネズエラのインフレ率は、カラカスとマラカイボの物価を基準に、新インデックスを用いて計測するとしている。

2. 金融取引税の引下げを検討

- 3月13日、*El Universal*紙は、ベネズエラ政府は、金融取引税¹を現行の 1.5%からの引き下げを検討している、と報じた。
- これは、インフレ対策に加え、同税による企業の経済活動に対するコスト負担の軽減が目的の一つとされている模様。
- 他方、徴税監督庁では、2008年度の同税による税収を Bs.F120 億(55.8 億ドル)と見込んでいる。
- 一部のアナリストは、同税は高インフレの要因となっていたことから、一時的な税収減も長期的には税構造改革を導く、と好意的に分析している。

3. 食品 2 社を国有化

- 3月14日、チャベス大統領は、食品部門の 2 企業の国有化を発表した。
- 1 社はベネズエラ最大の食肉加工・冷凍品流通会社、もう 1 社はベネズエラ国内で 3 割の牛乳生産能力を持つ Los Andes 社とされている。
- チャベス大統領は、2 社の国有化は食料の公平な分配を目的とするもので、社会主義的体制を目指すと言った。

II. 外交

1. 南米の緊張高まるも解決、コロンビアとの関係も修復

- 3月2日、チャベス大統領は、コロンビアの軍と国家警察がエクアドル領内でFARC²キャンプを空爆したことを受け、コロンビアとの国境にベネズエラ軍 10 連隊を派遣した。更に在コロンビア・ベネズエラ大使館を閉鎖。

¹インフレ対策を目的に段階的に付加価値税が引下げられたが、その税収を補填する目的で 2007 年 11 月に導入されたもの。

² Revolutionary Armed Forces of Colombia。コロンビアの左翼グループ。

- 3月7日、ドミニカ共和国で開催された中南米 21 カ国首脳会議で、コロンビア・ベネズエラ・エクアドル 3 カ国は和解に合意した。
- 3月9日、ベネズエラはコロンビアとの外交及び通商関係の正常化を宣言し、国境付近の軍隊の撤退を指示した。

2. 米国、ベネズエラをテロ支援国家とするか検討開始

- 3月11日、*Miami Herald*紙は、米国がベネズエラをテロ支援国家リストに含めるかを検討する、と報道した。コロンビアが、殺害されたFARC幹部のRaul Reyesが所有していたコンピューター内にベネズエラとFARCの関係を示す証拠がある³、と指摘したことに端を発している⁴。
- 3月13日、ライス米務長官は訪問先のブラジルで、「国連加盟国は自国内・国境において、いかなるテロ活動・テロ攻撃を容認すべきでない。事態を注視し適切な行動をとる。」と発言。
- これに対し、3月15日、マドゥーロ外務大臣は、「米国は、先の中南米 21 カ国首脳会議におけるベネズエラ政府の平和的勝利に対抗している。」と批判。
- 一部のアナリストは、米国・ベネズエラ間の石油取引量や両国に及ぼす経済コストを考えると、世論の関心を高めるだけで、(テロ支援国家として受ける)経済・金融制裁には至らないだろうと分析している。他方で、ベネズエラに対する敵対的環境の増幅により、同国国債の信用に対するボラティリティの上昇が見込まれるとしている。

III. 石油その他の資源セクター

1. 一部原油・石油製品支払いにユーロ建てを要求

- 3月14日、ラミレス・エネルギー石油大臣は *El Universal* 紙のインタビューで、ベネズエラは一部の原油・石油製品の支払いには、ドルではなくユーロ建てとするよう要求すると発言した。
- チャベス大統領は、しばしば米国のドル安容認を批判しており、OPEC 加盟国へ原油価格をドル建てからバスケット方式へ見直すよう求めている。
- ユーロ建てで支払われるべき目標額等の詳細は明らかにされていない模様。

2. インド石油・天然ガス会社、オリノコ川流域の権益取得を計画

- 3月3日、インド政府は、インド石油・天然ガス会社(ONGC)がベネズエラのオリノコ川流域 San Cristobal 油田の権益 40%を PDVSA より 3.56 億ドルで取得する計画を公表。
- ONGCの海外投資会社ONGC Videsh Ltd.(OVL)と、PDVSA/CVP⁵により合弁会社を設立し、同油田の開発にあたる。OVLによるベネズエラでの初投資事業となる。
- 同地域では 1 エーカーあたり 18,000-20,000b/d 生産されており、更に 40,000b/d の生産可能性が見込まれている。

³チャベス大統領がFARCへ3億ドルの資金提供を行っていたとしている。

⁴FARCは、米国よりテロ・グループの一つと見なされている。

⁵Venezuelan Petroleum Corporation。

3. アルゼンチン、エネルギー協定に調印

- 3月6日、チャベス大統領とアルゼンチンのフェルナンデス大統領は、PDVSAとアルゼンチン石油公社ENARSA間のエネルギー協定を含む、複数の二国間協定に調印した。
- PDVSAとENARSAは、オリノコ川流域Ayacucho 6鉱区の超重質油の採掘及び精製を目的とする合弁会社を設立する。
- PDVSAはENARSAへ、最大で年間1,000万バレルの燃料、年間230万バレルのガスオイルを供給することで合意。
- 更に両機関は、アルゼンチンにLNG受入施設を建設する予定で、建設費用として4億ドルを見込んでいる。

以上

本レポートは発表時の最新情報に基づいて作成されておりますが、情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、レポートの内容は今後予告なしに変更されることがあります。予めご了承下さい。